

「下水道とじょう化そう」

入 賞

小田原市立三の丸小学校

かつまた

勝 俣

さ

紗

や

弥

わたしのお父さんが子どものころは、家にぼっとんべん所がありました。よくスリッパを落としてしまうことがあり、すごく深くて自分も落ちてしまうんじゃないかとハラハラしていたそうです。今ではぼっとんべん所はなくなり、じょう化そうがせっちされています。それはうら庭の地面の下にあるので、見た目ではどこにあるのか、どんな形をしているのか分からず、フタだけが見えているじょうたいです。

わたしの住んでいる地いきでは、下水道が整びされています。家のしき地内には、ひらがなでおすいと書かれたフタが11こあり、メダカの絵がデザインされているフタが1こあります。下水道とじょう化そうのちがいについて気になったので調べてみました。

両方とも汚水をせんじょうして川に放流するための汚水しょ理しせつですが、一番の大きなちがいはよごれた水をきれいにする場所です。じょう化そうの場合は、家庭で汚水しょ理が行われますが、下水道の場合は、下水かんを通り汚水しょ理場に運ばれてよごれが取りのぞかれます。じょう化そうの場合、各家庭で定期的な清そうや点けんを行いバキュームカーによるくみ取りが必要となりますが、下水道の場合、そういった必要がありません。また、じょう化そう内のび生物が弱ってくると悪しゅうの原いんとなりますが、下水道の場合、悪しゅうが軽げんされ、においにつられてやってくる虫の発生もおさえられるためえい生的です。人口の少ない市町村で下水しょ理しせつを作ると一人あたりの整びひ用が高くなりますが、じょう化そうの場合、人口の少ない市町村でもこうりつ的な整びがかのうとなり、自動車一台分てい度の広さでせっちできるため、せっち場所や地形地しつにえいきょうを受けにくいです。下水道にもじょう化そうにもそれぞれメリットデメリットがあることが分かりました。

わたしはよく家族で川へ魚つりに行きます。その水はとてもきれいですき通っていて、泳いでいる魚のすがたがくっきり見えます。川がきれいでつった魚を食べられることは当たり前だと思っていましたが、今回調べてみて当たり前ではなく、それは下水道のおかげだということが分かりました。少しでも下水道に負たんをかけないために、油やかみの毛を下水かんに流さないように気をつけたいと思います。